

“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

2015
冬

むらのおと

季刊誌「むらのおと」vol.8

特集

大切なものは 全部、邑にあった!

むら

大学生体験レポート

有東木 (静岡市)

三島箱根西麓地区 (三島市)

インタビュー

森町南部 (森町)

夢未来くんま (浜松市)

邑ジャーナル

イベントカレンダー

- 一の宮の里 (森町)
- そばの里づくり佐久間 (浜松市)
- 浮橋 (伊豆の国市)
- 大好き渋川 (浜松市)
- 二子湧水の里 (御殿場市)
- 白糸の里 (富士宮市)



ふじのくに 美しく品格のある 邑^{もろ}って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食料を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていくとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、平成27年9月現在で100地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。

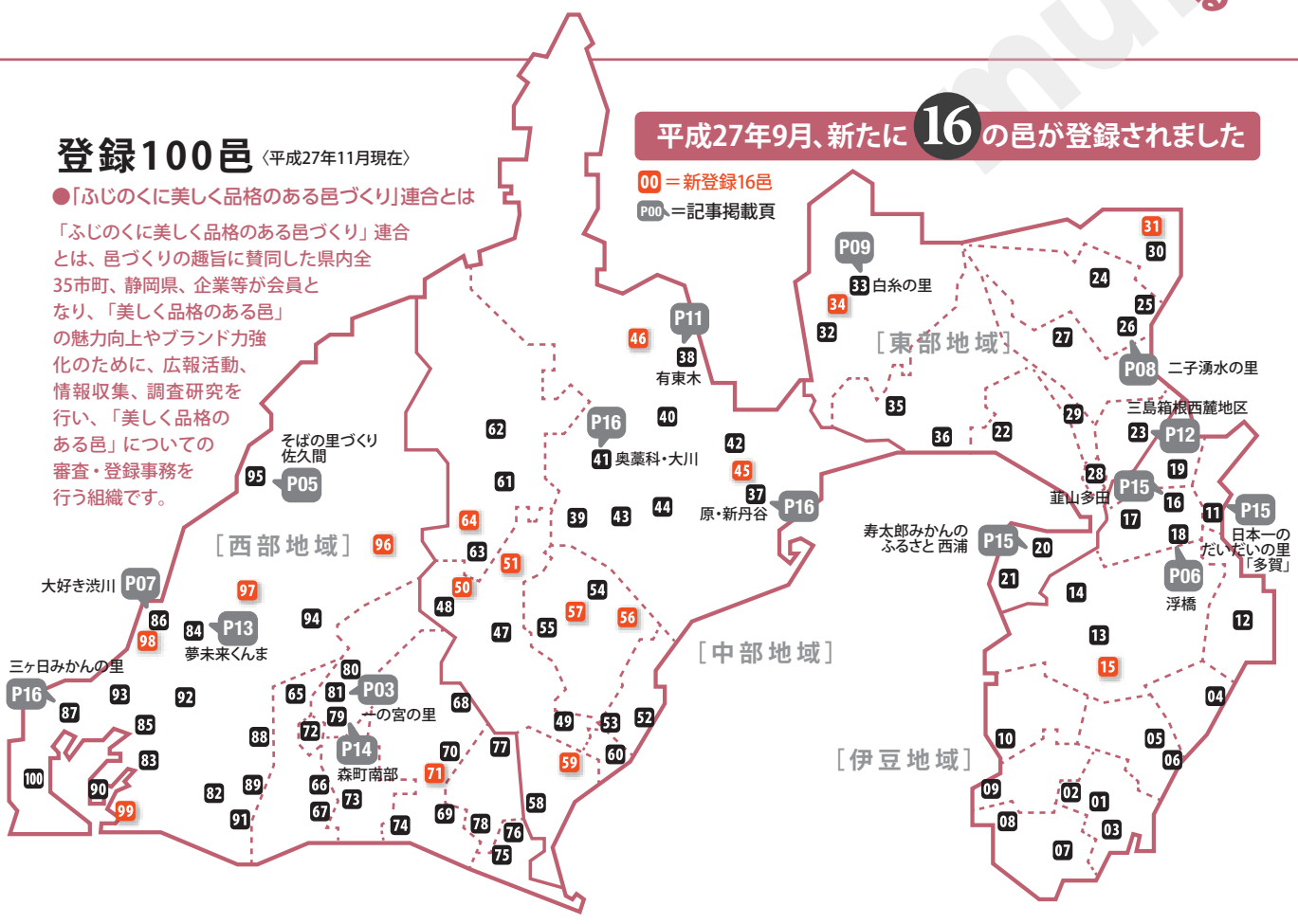
登録100邑〈平成27年11月現在〉

●「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県、企業等が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

平成27年9月、新たに **16** の邑が登録されました

00 = 新登録16邑
P00 = 記事掲載頁





vol.8

2015

冬

CONTENTS

特集

大切なものは全部、邑にあった!

- 81一の宮の里(森町) ——— 03
 95そばの里づくり佐久間(浜松市) ——— 05
 18浮橋(伊豆の国市) ——— 06
 86大好き渋川(浜松市) ——— 07
 26二子湧水の里(御殿場市) ——— 08
 33白糸の里(富士宮市) ——— 09
 邑びとvoice ——— 10

大学生体験レポート

- 38有東木(静岡市) ——— 11
 23三島箱根西麓地区(三島市) ——— 12

インタビュー

- 70森町南部(森町) ——— 13
 84夢未来くんま(浜松市) ——— 14

邑ジャーナル

- 11日本一のだいだいの里
「多賀」(熱海市) ——— 15
 16葦山多田(伊豆の国市)
 20寿太郎みかんのふるさと 西浦(沼津市)
 37原・新丹谷(静岡市) ——— 16
 41奥藁科・大川(静岡市)
 87三ヶ日みかんの里(浜松市)

イベントカレンダー ——— 17



表紙／浮橋(伊豆の国市)では「浮橋まちづくり実行委員会」が中心となり、地場産品にこだわった生産活動に取り組んでいます。1月には地元幼稚園児たちが麦踏み体験しました。収穫した小麦は「浮橋うどん」などの特産品として商品化しています。



奥藁科・大川(静岡市葵区)／雪景色の大川地区

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはず。

周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、100の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

- 66とんぼの里 岩井(磐田市)
 67田原地区(磐田市)
 68茶文字の里 東山(掛川市)
 69高天神の里(掛川市)
 70東山口・西山口(掛川市)
 71掛川天守をのぞむ里(掛川市)
 72源氏とひまわりの里(袋井市)
 73諸井里山の会(袋井市)
 74とうもろの里(掛川市・袋井市・磐田市)
 75カカシ祭りの里 新野(御前崎市)
 76朝比奈(御前崎市)
 77千框の棚田(菊川市)
 78嶺田用水の里(菊川市)
 79森町南部(森町)
 80天方(森町)
 81一の宮の里(森町)
 82地域いきいき共生!
恩地町環境みどり会(浜松市)
 83和地ふるさと会(浜松市)
 84夢未来くんま(浜松市)
 85銅鐸と水田のふるさと中川(浜松市)
 86大好き渋川(浜松市)
 87三ヶ日みかんの里(浜松市)
 88中郡地区(浜松市)
 89中ノ町地区(浜松市)
 90村郷地区(浜松市)
 91大塚地区(浜松市)
 92都田地区(浜松市)
 93〜竜ヶ石山〜西四村の里(浜松市)
 94いっぶく処 横川(浜松市)
 95そばの里づくり佐久間(浜松市)
 96はるの山の楽校(浜松市)
 97ほっと龍山(浜松市)
 98ひずるしい鎮玉(浜松市)
 99らびりんすゆうとう(浜松市)
 100新所水とみどりのプロジェクト(湖西市)

◇中部地域

- 54南条の里(富士宮市)
 55岩本山とかりがね堤を守る邑(富士市)
 56富士山のふもとを守る邑(富士市)
 ◇中部地域
 57原・新丹谷(静岡市)
 58有東木(静岡市)
 59清沢(静岡市)
 60大沢地区(静岡市)
 61奥藁科・大川(静岡市)
 62清水区西里(静岡市)
 63水見色(静岡市)
 64奥長島(足久保)(静岡市)
 65布沢(静岡市)
 66大代(静岡市)
 67神座鶴網(島田市)
 68越地(島田市)
 69湯日(島田市)
 70抜里(島田市)
 71ささま(島田市)
 72中の島(焼津市)
 73西島(焼津市)
 74殿(藤枝市)
 75本郷(藤枝市)
 76岡部本郷(藤枝市)
 77葉梨山水会(藤枝市)
 78菅山原(牧之原市)
 79坂部(牧之原市)
 80吉田たんぼ(吉田町)
 81徳山(川根本町)
 82池の谷・閑蔵(川根本町)
 83地名(川根本町)
 84けつこい瀬平(川根本町)

◇西部地域

- 85敷地村(磐田市)

◇伊豆地域

- 91下大沢(下田市)
 92加増野(下田市)
 93大賀茂(下田市)
 94大川(東伊豆町)
 95上佐々野わくわくの里(河津町)
 96伊豆見高入谷高原(河津町)
 97日野 元気な百姓達の里(南伊豆町)
 98伊浜地区(南伊豆町)
 99石部赤根田村百笑の里(松崎町)
 100中(西伊豆町)
 ◇伊豆地域
 101日本一のだいだいの里「多賀」(熱海市)
 102十足(伊東市)
 103伊豆月ヶ瀬梅の里(伊豆市)
 104桂流コシヒカリのふる里(伊豆市)
 105いずのやね茅野(伊豆市)
 106葦山多田(伊豆の国市)
 107葦山金谷(伊豆の国市)
 108浮橋(伊豆の国市)
 109丹那(函南町)

◇東部地域

- 20寿太郎みかんのふるさと 西浦(沼津市)
 21戸田(沼津市)
 22浮島(沼津市)
 23三島箱根西麓地区(三島市)
 24西澤水系(御殿場市)
 25沼田口マンチック街道(御殿場市)
 26二子湧水の里(御殿場市)
 27パノラマ遊花の里(裾野市)
 28久米田(清水町)
 29上長窪地区(長泉町)
 30所領(小山町)
 31金太郎産湯の里湯船(小山町)
 32柚野の里(富士宮市)
 33白糸の里(富士宮市)



特集

大切なものは 全部、邑にあつた！

本当に大切なものって、なに？
豊かな自然、美味しい食べ物。
家族、友だち、仲間たち。
夢や希望、そしてたくさんさんの笑顔。
大切なものを大切にする気持ち…。
「邑」には大切なものが、
本当に全部あるんです。

地域の幼稚園児と田植え。
作業中に水棲動物を見つけ
て大はしゃぎ。これをきっ
かけに自然に興味を抱く
子どもも多いそうです

地域の幼稚園児と芋
掘り。このほかにもトウ
モロコシの収穫など、
さまざまな農業体験を
実施しています



水を守り、里山を語り、 人の輪を育てる邑づくり

夢と生き甲斐を
育てる活動

周智郡森町一宮は1400年以上の歴史を持つ小國神社のお膝元。周辺には里山風景が今なお残り、豊かな自然があふれています。そんな美しい里山を次代へ語り継ぐと「一宮の水と環境を守る会」がさまざまな活動を行っています。

同会が発足したのは平成20年。きっかけは農家の高齢化や担い手不足によって耕作放棄地が増えてしまったことです。「このままでは地域の農業がすたれてしまう」と地元の有志が立ち上がり、水にまつわる環境整備を始めました。当

1. 農業用水の泥上げ作業の様子。骨の折れる仕事ですが、優れた農作物を作る宝の水を守るためには欠かせません。



邑番号
81

一の宮の里

いちのみやのさと
周智郡森町一宮

- 車 / 新東名高速森掛川ICから県道40号線を経て天竜浜名湖線・遠江一宮駅方面へ約10分
- 電車 / 天竜浜名湖線・遠江一宮駅からすぐ



2. トウモロコシの収穫をする子どもたち。同会の活動は年代の異なる人たちをつなげる役目も果たしています。
3. 耕作放棄地を復元して貸し農園「一宮ぶれあい農園」を創設。農機具などの貸し出しも行っています。

初は水路の補修や用水路の点検などを行っていましたが、最近はずいぶん子どもたちと一緒に水棲生物の調査やアマゴの放流を行うなど、活動は地域の老若男女を巻き込む形に発展しています。また、耕作放棄地を復元して貸し農園、地域で収穫される「一宮米」のブランド化、講師を招いて開催する環境教育など、活動の輪は年を追うごとに広がっています。

同会の役員は現在36人ですが、農地・農道の草刈りや環境美化活動などは地域住民総出で行っています。同会の会長を務める榊原淑友さんは語ります。「活動を始めて7年目ですが、子どもたちの目が輝いてきたことがはつきり分かります。そんな子どもたちが大人になって、一の宮に誇りを持ってくれたら、この素晴らしい

里山を次代へ語り継ぐことができるでしょう」
同会の活動をきっかけに子どもとお年寄りの交流も進んでいます。子どもたちの目を輝かせ、お年寄りの生き甲斐も生んでいる同会の活動は、豊かな里山を守るだけでなく、美しい人の輪を育む原動力にもなっています。



新そばまつりには、毎年二日間7000人前後の人が訪れます。
平成28年は1月16日(土)・17日(日)

西 そば特集 の佐久間



邑人とパートナーの協力で そばの花が天竜に咲く

そばの パートナー制度で交流

新東名浜北インターで降りて、雄大な天竜川を臨む川沿いの国道152号線を、上流へと向かって北上すること二時間。佐久間ダムで知られる天竜区佐久間町にたどり着きます。山香、城西、浦川、佐久間の4つの地域が合併してできた広大な敷地を誇るこの邑には、約4000人の人々が暮らしています。驚くのは、それだけの大所帯でありながら、全国で4番目となる全戸参加型のNPO法人「がんばらまいか佐久間」を、邑人たちが一致団結して運営していることです。事務局長の河村さんは言います。「NPOではあるのですが、どちらかというと『二役場』的な役割を果たしています」

その言葉どおり、同法人には様々な委員会があり、邑人たちが住みよい田舎暮らしを送れるよう、日々活動に励んでいます。とりわけ盛んな動きを見せているのが、地域おこし活動委員会が行う「そば」を使った邑づくり活動。佐久間では都市部との交流を図ろうと、外部の人と一緒に「そばづくり」を行う「そばのパートナー制度」を実施。平成22年から始まったこの取り組みは、年々参加者を増やし、現在では9組70名、浜松市内だけでなく名古屋や横浜から参加する人もいます。種まきから収穫まで年7回の自由参加制度を取っており、そばを育てる楽しさはもちろん、家族や友人同士でも参加できるとあって、一度参加したグループはほとんど翌年も参加するそうです。



そばの里づくり 佐久間

そばのさとづくり さくま

浜松市天竜区佐久間町

- 車／新東名高速浜北ICから60分
- 電車／JR飯田線佐久間駅下車（豊橋駅から2時間）



1. パートナーと育てるそばの畑。初夏には美しいそばの花で彩られ、鑑賞会も行われます。2. そばの収穫は11月ごろ。自分で種まきしたそばの収穫は、喜びもひとしお。3. 収穫したそばを天日干しにする「はざ掛け」は、秋から冬にかけての邑の風物詩。4. そばのパートナー制度利用者の皆さん。ほとんどの方が毎年参加しています。5/6. 収穫したそばは皆で製粉、そば打ちを行い、試食します。一年で一番うれしい瞬間です。

東そば特集 の浮橋



毎年8月から11月末にわたって行われる「蕎麦作り体験イベント」。1グループ15,000円で、種まき、刈り取り(写真左)、脱穀、蕎麦打ち教室の4つの作業体験ができます。一番の楽しみは蕎麦打ち教室。ここでは二八で打ちますが、つなぎの小麦粉も浮橋産です。



もともと蕎麦は自家消費用に栽培されてきたため、外部の人たちが味わえるのは、12月に行われる「浮橋そばの里祭り」のみ。まさに「幻の蕎麦」です。

さまざまな体験イベントで 「気軽に遊びに行ける田舎」をアピール

「蕎麦の里」から 地場小麦の 6次産業化に挑戦！

伊豆の国から伊東へ抜ける宇佐美大仁道路を亀石峠の少し手前で脇道に入っていくと、山間に開けた長閑な平野が現れます。そこが浮橋地区。標高約270mの盆地帯では、昔から米が少ない時には蕎麦を作り、各家庭で食べられてきました。現在は栽培農家も30軒ほどに減少していますが、毎年12月には地区を挙げて「そばの里祭り」を開催。今年で21回目を数える暮の風物詩は、外部にほとんど出回らないことから「幻の蕎麦」と呼ばれる美味を求めて、2000食が約2時間で完売してしまうほど。

ど大勢の人でにぎわいます。ただ、こんな名物イベントを抱える里でも、少子高齢化は大きな問題になりました。そこで、愛する地元の活性化を願う有志たちが、平成24年3月、「浮橋まちづくり実行委員会」を設立。まずは外部の人たちに邑を知ってもらうため、「気軽に遊びに行ける田舎」を掲げて、ホテル鑑賞会やクワガタ・カブトムシ採集、遊休農地を利用した蕎麦作りなど、邑の資源を生かした田舎体験イベントを開始。新聞社をはじめメディアへのこまめな情報発信によって認知度を高めてきた催しは、東京からの参加者もあるほど好評です。

一方で、最終目標を地場産品の6次産業化に置く実行委員会では、収穫の機械化が難しく、増産できない蕎麦に代わり、近年は小麦栽培にも力を入れています。実際、地産小麦100%使用のうどんとうめんは商品化され、浮橋うどんは「伊豆の国反射炉ブランド」認定品に。今後、地場産小麦を使用し、新たな特産品の開発を検討。浮橋にしかないオリジナル商品誕生の先に、邑の明るい未来が見えるようです。

「よいしょ、よいしょ」と、
地元の幼稚園児たちが
麦踏み体験。まずは
地域に発信し、浸透
させることが大切です



3. 邑の奥地にある「浮橋市民の森」は、自然と親しめる家族連れにオススメのスポット。4. 実行委員会の畑では、蕎麦の収穫後は小麦を栽培。今年は地元中学生が麦刈りを体験し、12月の文化祭でその小麦粉で作ったパンなどを販売、売り上げを東日本大震災の被災者に寄付するそうです。



浮橋

うきはし

伊豆の国市浮橋

- 車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから約60分
- 電車／バス／伊豆箱根鉄道 修善寺駅または大仁駅前バス停から東海バス「亀石峠」行き乗車、「浮橋」下車



1. 6月にはホテル鑑賞会と合わせて、地場産そうめんを使った流しそうめん大会も開催。
2. 夏休みには「クワガタ・カブトムシ取り体験」を実施。早朝5時の集合でも、子どもたちは大喜び!



小さくも元気な邑で学ぶ 貴重な文化と自然の醍醐味

大切なものに対する 気付き

春夏秋冬、美しく姿を変える山間の景観に合わせるように、一年を通して季節ごとの多様な催しを活発に行う、小さいながらも元気な邑。それが、浜松市北区引佐町にある渋川です。

渋川の一年は、国指定重要無形民俗文化財である正月の伝統行事「寺野ひよんどり」で幕を開けます。寺野の舞は「五方に舞う」のが特徴で、正面二回を含め「右」「左」「右」と回転するのが基本で、第十三番まであります。中でもクライマックスの鬼の舞は圧巻で、豪快にして厳肅な雰囲気が見る者の目を釘付けにし、胸を打ちます。浜松城が築城された元亀元年（1570年）から400年以上続くと伝えられる、歴史的に大変貴重な祭礼です。

暖かくなる5月の中旬頃からは、県指定天然記念物「シブカワツツジ」を愛でる「渋川つつじ祭り」が2週間ほど開かれます。他にも夏はアユの掴み取り、秋はシイタケ狩りとイベントが目白押し。

し。冬に訪れれば、しし鍋を食することもできます。

これらのイベントを企画運営しているのが「NPO法人大好き渋川」の皆さん。同会が運営するキャンプ場「てんでんゴーしぶ川」は、バンガローだけでなく、大人数で宿泊できる快適なコテージもあるので、季節を問わず楽しめます。満天の星空の下で過ごす一夜に、利用者は皆、笑顔で帰って行くといいます。

自然や文化に触れることで、大切なものに気付かせてくれる渋川。2017年のNHK大河ドラマが「女城主直虎」に決まったことから、浜松市では、ゆかりの強い井伊谷を中心に、その対応が始まっています。当地渋川は、井伊谷から約15km北にあり、直虎の許嫁、亀之丞（元服して直親）が、信州に身を隠す際に立ち寄ったお寺やお墓があるなど井伊家ゆかりの地です。次はどんな催しを開いてくれるのか、期待が膨らみます。

6. 都会で育った子供にとっては、シイタケ狩りも貴重な体験。収穫後は食事会が開かれます。
7/8. 夏に行われるアユの掴み取り。大人も子供も楽しめる人気のイベントです。掴み取りしたアユは塩焼きに。



1. 春になると、シブカワツツジが邑を美しく彩ります。咲き方や花びらに特徴のある貴重な植物です。5月に行われるつつじまつりでは、地元のお茶が振舞われるほか、趣向を凝らした催しも。
- 2/3. てんでんゴーしぶ川のバンガロー。夏休みには利用客がたくさん訪れます。
4. てんでんゴーしぶ川のコテージ。風呂、トイレ、キッチン完備。庭にはバーベキュースペースがあります。
5. 「てんでんのひな祭り」の様子。



大好き渋川

だいすきしぶかわ

浜松市北区引佐町渋川

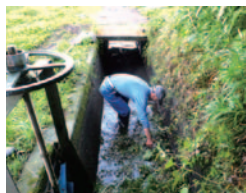
- 車／東名高速浜松いなさインターから15分
- 電車・バス／JR浜松駅バスターミナル15番乗り場「渋川行き」バス100分→渋川下車徒歩15分





邑には古くからの農家地域と30～40年前にできた新興住宅地がありますが、環境美化活動には全戸が参加。美しく保たれた水路や川には、アマゴも放流されています。

昨年から水質浄化にも役立つというマコモダケの栽培も開始。皮をむいた白い茎の部分は驚くほど甘く、生でも炒めても天ぷらにしても美味。



二子湧水の里

ふたごゆうすいのさと

御殿場市二子

- 車／東名高速御殿場ICまたは裾野ICから約10分
- 電車／JR富士岡駅から徒歩約15分

神聖な湧水の恩恵に感謝し、自然と共生した邑づくり

二子湧水保存会の皆さん。左から事務局長の渡邊和夫さん、副会長の瀬戸利満さん、会長の持庵幸雄さん、二子区長でもある都平進さん



湧水の恵みと水路を築いた先人の功績に感謝するために始まった「二子湧水感謝祭」。地元特産品の販売や水かけ菜料理の提供、お囃子演奏などでにぎわいます。



水かけ菜畑のオーナー制など新事業にも積極的に着手

御殿場市の南東部に位置する二子地区は、古くから富士山の恵みを受けた湧水によって育まれてきた純朴な農村地帯です。その源となっているのが、不動池と水神池という2つの湧水池。日量にして約2万トンも湧き出る霊峰の伏流水は、20ha以上ある田畑を潤し、良質の米を産出してきました。加えて80年ほど前からは、年間温度が12℃前後で変わらない湧水の特徴を生かし、冬季の裏作として水かけ菜の栽培も

盛んに行われています。

今、邑中をめぐる水路の総距離は約7km。その半分弱が隧道です。江戸時代に先人たちが築き上げた財産は防災面でも有効。だから、毎年2回行いう河川清掃には、非農業者も含めた全戸が参加します。これは、邑人全員が湧水の恩恵と先人の功績を尊び、感謝している証でしょう。

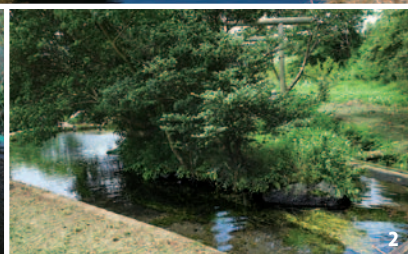
そんな邑では、さらなる自然環境の保全と地域活性化を目指し、

全市民が会員となる「二子湧水保存会」を発足。現在、さまざまな活動に取り組んでいます。

具体的には、平成25年から毎年2月下旬～3月上旬に、「二子湧水感謝祭」を開催。それに合わせて、水かけ菜栽培のオーナー制度を導入しました。これは、一般の人が5m区画ほどずつ畝の所有者になり、収穫のみを行うというものです。また、地元小学生の総合学習の一環として、湧水の勉強と水

かけ菜の摘み取り体験も実施、次世代に邑の歴史や文化を伝えています。

さらに、背後に控える箱根外輪山の林道にイチヨウ並木のハイキング道を整備し、銀杏の特産化も目指したり、湧水を利用した小水力発電を計画したり…。新事業への挑戦も始まっています。大自然を敬い、恩恵を受けながら共生する美しい邑へー彼らの夢は膨らむばかりです。



1. 真冬でも緑の葉が瑞々しい水かけ菜が育つのは、温度が一定の湧水があるからこそ。元は水稻の緑肥として植えられていたという作物は、春には摘み残した芽が黄色い花を咲かせ、やがては豊穡な土を作ります。
- 2/3. それぞれ不動尊と水神宮を祀り、邑人の手で大切に守られてきた2つの湧水池。汲み取り自由のため、特に不動池は連日多くの人たちが訪れます（マナーはわきまえましょう）。
4. 地元富士岡小4年生による水かけ菜の摘み取り体験。作業後は子どもたちが保存会に作文を書いて贈るなど、心触れ合う交流も魅力です。



2



1

1/2. 国や県・市の補助を受け、約20年かけて完成した「平成棚田」。この大規模圃場整備は、農業の振興だけでなく農村の景観づくりにもつながりました。近代的農業基盤の完成は、中山間地農業の素晴らしい見本になるでしょう。

3. 「白糸の里」の皆さん。左から宇居邦明さん、笠井軍二さん、代表の渡邊勝さん、酒井良則さん。「他地域の人が見れば芝川も原川も『きれいな水』と言われますが、今後は昔のようにどこでも芝川のりが採れるような川に再生するのも課題」と酒井さんと笠井さん。 4. 美しい農村環境を保つため、草刈りや河川掃除に精を出す邑人たち。

3



4



白糸の里

しらいとのさと

富士宮市原

●車／東名高速富士ICまたは新東名高速新富士ICから約35分

●JR富士宮駅から富士急静岡バス「白糸滝」行き乗車、「白糸の滝」下車

自然・文化・歴史遺産に満ちた歩きたくなる癒しの里

圃場整備が生んだウォーキングコース

「圃場整備をしていなければ、今頃はみんな耕作放棄地になっていただろうな」。今年93歳になる渡邊勝さんは、緩やかな傾斜地に整然と広がる棚田を眺めながら、感慨深げに語ります。

富士山の西麓、世界遺産の名瀑を擁する白糸地区は、古くから霊峰と天子ヶ岳の伏流水で育まれてきた豊かな田園の里。現在では、活動母体「白糸の里」が総括してより良い邑づくりに取り組んでいます。ですが、全ての起点は、昭和62年に始まった大規模な水田圃場整備でした。それまでは、牛馬も入れない

ほど小さな千枚田だった地帯は、約20年かけて機械化が可能な農地へ改良。美しい碁盤状に蘇った田園は「平成棚田」と命名され、白糸コシヒカリとして銘柄化が進み、米の収穫量は約50%増、裏作で水かき菜の栽培も始まりました。

それと同時に、室町時代に用水路として手掘りされたという原川も改修。当初は味気ない三面コンクリートの予定を皆が結束して情緒ある石積護岸に変え、親水公園も設置。富士を背に河津桜やアジサイなどの花々が彩る川辺は、まさに絶景スポットです。

さらに、300年超の歴史を持つ文殊堂の夏祭りを手筒花火で盛

大な祭典に進化させたり、三極（みつまた）和紙の復活に向け、今年度導入予定の紙漉き機を用いて、邑で生産・製造した和紙を地元の小学校の卒業証書に使用できるようにするなど、邑の伝統文化継承にも力を注いでいます。

今秋、長い年月と労力をかけて生まれ変わった里をめぐるウォーキングコースが、「新日本歩く道紀行ふるさとの道100選」に認定されました。四季で変容する田園と大沢崩れも雄大な富士山の景色は、歩いているだけで心を癒してくれます。まさにここは、邑全体がパワースポットであり、中山間地農村の理想郷なのかもしれません。



5

5. 「平成棚田ノルディックウォーキングコース」にもなっている原川親水公園は、富士山の絶景スポット。特に梅や河津桜が咲き誇る春先がオススメです。 6/7. 邑には世界遺産の「白糸の滝」をはじめ、「駒止の桜」や「音止の滝」、「工藤祐経の墓」など史跡・名所がたくさん。



6



7

8. 毎年8月19日の文殊祭典では、手筒花火が勇壮に夜空を彩り、子どもたちも小さな花火で盛り上げます。 9. 遊休耕地で栽培した三極。 10. 風情ある石積護岸の原川では、毎年夏にマス釣り大会も開催！親子連れでにぎわいます。



9



8



10



83白糸の里(富士宮市)
渡邊 勝さん

大正11年生まれ93歳。持ち前の統率力で、「いいな故里は、守ろう原睦み会」、「原産農作業受委託組合」の代表などを歴任。現在も白糸の里代表として活躍中。

苦難を乗り越えてきた からこそ、今がある

今の白糸の里があるのは、すべて水田の圃場整備が始まり。長い年月の間には大変なこともありました。懲りずに取り組んできた賜物を見れば、苦労の甲斐がありました。今後は、新潟の魚沼に匹敵するような白糸コシヒカリの銘柄化と、水かけ菜・三桠栽培を定着させることが命題です。



26二子湧水の里(御殿場市)
持庵 幸雄さん

御殿場市二子地区出身。現在は農業に従事しながら、二子湧水保存会会長として、湧水の保全と新規事業の開拓に尽力する。

湧水と先人が築いた水路を 守っていくのが我々の義務

二子地区は人口の減少もほとんどなく、兼業ですが農家の後継ぎも残っています。自慢の湧水には、今はいろんなところから多くの人たちが水汲みにやってきますが、環境を破壊しないようお願いしたいと思います。この湧水と水路を守るのが我々の義務ですが、今の事業を若手にも引き継いでいってほしいです。



18浮橋(伊豆の国市)
土屋 實さん

旧大仁町浮橋出身。税理士事務所を経営する傍ら、現在は浮橋地区の区長、まちづくり実行委員長として、広報活動にも積極的に取り組む。

「ここにしかない!」という 商品を作り出したい

今後は、地産小麦の商品化を何とかベースに乗せていくのが目標。それには、うどんにしろケーキにしろ、「ここにしかない!」というものを考えていきたいです。また、地場のそばやうどんに昔からある田舎の食べ物などを加えたメニューを提供する店なども、展開できるといいですね。



郷土に対する愛情が溢れる
「美しく品格のある邑」の
キーパーソンに、
今後の夢や目標を語ってもらいました



95そばの里づくり佐久間(浜松市)
河村 秀昭さん

定年退職後、夢であった田舎暮らしを実現するため、ずっと住み続けた東京を離れ、佐久間に移り住んだ。がんばらまいか佐久間の事務局長。

都会暮らしにはない、 温かさがここにある

ご縁があって佐久間に移り住んできましたが、とてもこの地を気に入っています。星空や緑の美しさもありますが、何より人柄がとても素晴らしい。よそ者である私を温かく迎え入れてくれるが、心地よい距離感も保ってくれています。多くの方に訪れていただき、その良さを知っていただきたいです。



86大好き渋川(浜松市)
山本 培代さん

「NPO法人大好き渋川」初の女性理事長として、邑のPRに貢献。一人でも多くの若者に渋川の良さを知ってもらおうと、精力的に活動している。

お客様の声に 元気をいただいています

貸別荘(コテージ)やキャンプ場の運営、五平餅販売などのイベントを通して、都市の方と楽しく交流しています。お客様の「ありがとう」とか「おいしかったよ」という言葉に元気をもらっています。これからも田舎の良さや自然の素晴らしさを発信して、より多くの方に渋川のファンになっていただき、しあわせまちづくりを進めていきたいです。



81一の宮の里(周智郡森町)
榎原 淑友さん

一宮の水と環境を守る会の会長。森町全域の特産品等を全国へPRした功労者。「森町掃除に学ぶ会」も主宰する。

地域の人たちに誇りを

歴史がある。水がきれい、お米がおいしい、そんな一宮は全国に誇りうる素晴らしい里山です。まずはその美しい風景を多くの人たちに楽しんでもらいたいと思っています。そして地域の人たちにも誇りを持ってほしいですね。それが私の務めであり、目標であり、夢です。

大学生 体験レポ



静岡大学大学院2年
鈴木智子さん

食・自然・人
全てが揃った里山へ

静岡市葵区有東木は人口およそ200人、72世帯が暮らすちいさな集落です。実際に訪れてみると、連なる山々は見上げるほど高く、有東木に暮らす方々はとても太らかで、自然と人情が凝縮されている魅力的な場所だと感じました。

徳川家の御紋
有東木わさびの魅力は
辛みにあり

わさび栽培発祥の地としても有名な有東木。その歴史は400年以上といわれ、徳川家康に献上された記録も残っています。ミネラル豊富な湧水で育つ有東木のわさびは、独特の刺激がある辛みと香り高い風味が特徴。県内外からのファンも多いそうです。

わさびを栽培して30年という望月俊明さんは、栽培したわさびを全国に出荷するほか、地元の農林産物加工販売所にも卸しています。

わさび栽培発祥の地 有東木に残る、 原風景を体感!



邑番号
38

有東木
うつろぎ

静岡市葵区有東木280-1 (うつろぎ)

●車／新東名高速新静岡ICから約40分
●電車・バス／JR静岡駅からバス「安倍線」運転免許センター行き（麻機行きを除く）で約75分バス停「有東木橋」下車すぐ

す。「採れたての地物の味を、有東木に来てくれた人たちに楽しんでもらいたい」という望月さん。有東木の農家の方々は、お互いに協力しながら地場産品を使つての料理や作物でおもてなしをしてくれます。お客さんからも、安心で美味しい地物が食べられると好評です。実際に食べたわさび漬はクセになる辛さで、白いご飯にとってもよく合いました。

ミネラル豊富な湧水が有東木わさびの美味しさの秘密です



定食に使われている野菜も薬味もお漬物も、すべて有東木産!



◀有東木を案内していただきました。写真右から望月俊明さん、白鳥はる江さん、宮原友光さん。

うつろぎの料理はすべて地場産の食材を使用。農家の方たちが協力しあって、収穫物をお店に提供しています。また、毎日静岡市街の朝市にも採れたての農産物を出しています。見かけた方はお手にとって、有東木の味をご堪能ください。



有東木のわさびはすぐ品切れになってしまうほどの人気商品!



地物を使った
絶品料理が楽しめる!
「うつろぎ」

景観も料理も格別な農林産物加工販売所「うつろぎ」は、有東木の元氣ステーションと呼ばれています。地元野菜やわさび販売のほか、定食やお菓子を食べられるお食事処として人気です。有東木自治会の方々が運営するお店は来年20周年をむかえるそうです。

大自然と暮らす
「日だけじゃ
味わい足りない魅力

うつろぎの副委員長を務める白鳥はる江さんは、「小さい集落だけど、有東木は大自然と山の恵みに溢れた魅力的な場所。大切にしていきたいし、多くの人に知ってもらいたい」と言います。

若者の集落離れが課題でもありますが、有東木ではわさび漬け、そば打ち体験やお祭りなど、外から訪れる人や子どもたちに向けた行事も多数開催。さらに、新緑や紅葉など、季節のうつろいを目と肌で楽しむことができます。歴史と伝統が続く有東木の魅力は、まだまだ深掘りできそうだと感じた体験でした。

(編集協力/静岡時代)

学生ワインバー店主が 箱根西麓地区の 三島野菜を堪能！

斜面に輝く
三島野菜の
緑と太陽

箱根山の西側に位置
する三島箱根西麓地
区。JR三島駅から車
で箱根の急坂を登るこ
と約20分、標高50メー
トル以上の斜面地に野
菜畑が広がっていました。平地で
はなく、斜面に広がる農村風景
は珍しく、農作物ごとに異なる
鮮やかな緑色のグラデーション
が綺麗でした。

「この土地」帯は火山灰土と
関東ローム層の赤土が混ざり
合った地域。水はけと肥料もち
のバランスも良いんですよ」。

主に人参や大根などの根菜類
を栽培している今井洋平さん
は、三島野菜の美味しさの秘密
はミネラル豊富な地質にあると
教えてくれました。実際に今井
さんの畑で採れた大根や人参は
甘みがあり、美味しかったです。

静岡県と山梨県の架け橋となるこ
とをコンセプトにワインバーを経営
する店主が静岡の素晴らしい食を
知るため取材へ行ってきました！



静岡県立大学
食品栄養科学部4年
山田瑞己さん
(ワインバーROUTE52 店主)



邑番号
23

三島箱根西麓地区

みしまはこねせいのくちく

三島市谷田 他

●JR三島駅（東海バス元箱根行）
→塚原上～笹原バス停

●東名高速沼津ICから約20分、新
東名高速長泉沼津ICから約20分

タイニーシシユでPR 若手生産者の挑戦

野菜畑を巡り驚いたのは生産
者の世代層の厚さ。三島野菜を
PRする「箱根西麓のうみん
ず」という若手生産者集団もあ
り、全国的にも珍しいタイニー
シシユを栽培しています。その
一人である宮澤竜司さんは「変

「これからは直売に
も力を入れていき
たい」と今井さん



今井さんオススメの三島箱根西
麓地区の野菜畑が広がる景観。



▲三島ブランド野菜をふ
んだんに使った雲助カ
レー。（おんふらんす）



今井さん
の畑で採
れた人参

三島ブランド野菜は農家とJA、行
政が協力して推進中。今年12月
には日本最長の三島大吊橋がで
きるため、三島ブランド野菜と自慢
の景観をより多く
の人に知ってもら
えることが邑の
人たちの楽しみ
だそう。



高梨さんに教
えていただき
ながらブロッ
コリーを出荷
状態の形に！



三島野菜がつくる 美しい風景の秘密は 「絆」と「減農薬」

箱根西麓地区に広がる野菜畑
の風景は一人の畑ではなく生産
者全員の手によって作られてい
ます。例えば無農薬で野菜を栽
培すれば虫がわきます。箱根西
麓地区の場合、パッチワークの
ように畑が隣接しているため、
すぐに被害が伝染してしまうの
です。

「特に決まりはないんだけ
ど、それぞれの生産者が適切に
農薬を使うこと（減農薬）で、こ
の景色が維持されている」

ここ三島で18年、ブロッコリー
やセリリなどを栽培する高梨
祥史さんが、三島野菜が織りな
す魅力的な風景を教えてください
ました。斜面に広がる野菜畑やそ
こから見える富士山、駿河湾な
どの景色が高梨さんのおすすめ
だそうです。

三島野菜とこの自慢の景観を
残していくために、生産者・J
A・行政のひたむきな挑戦は続
きます。

（編集協力／静岡時代）

interview

「美しく品格のある邑」に魅せられた
人びとに、そこでの活動や
魅力について聞いてみました。

1. 水稻の刈り取りが終わった森町南部の田んぼ。刈り取り後はすぐにレタスの苗を植える作業が始まります。
2. 半田さんのレタス畑。同じ畑でスイートコーンを育てることで、特有の甘味が生まれるといいます。



森町南部の牛飼地区で三毛作を行う半田侑紀さん。「ゆくゆくは水稻、レタス、スイートコーン以外の農産物にも挑戦したい」と語ります



三毛作で 農業の喜び 若き就農者 を実感する

◇半田侑紀さん

周智郡森町の南部地域は、昭和40年代から灌漑（かんがい）や圃場（ほじょう）整備が行われた優良農地です。現在は「水田3倍活用農法」が確立され、一年間に水稻、レタス、スイートコーンの三毛作が行われています。そんな地域で日々農業と向き合っている若き就農者が半田侑紀さん（32）です。夏は水稻とスイートコーンの栽培を並行して行い、秋から春にかけてレタスを育てています。

繁忙期の半田さんは午前2時に起床し、日が昇る前に収穫作業を終え、午前8時までに出荷作業を済ませます。朝食後は田んぼの管理を行い、昼食後は農機具や帳票類の整備など

の雑務に追われます。就寝するのは午後9時くらいですが、「毎日働けること、常にやるべき作業があることは農家として恵まれています」と半田さんは語ります。

就農者の高齢化とともに、天候頼みという不安定要素も相まって、農家の暮らしは全国的に厳しい状況ですが、森町南部では三毛作が確立されているため、比較的安定した農業経営を続けることができます。「二年中働けるのは、とても有り難いことです。ただ、ぼくより年下の就農者が育っていないことはちょっと心配です」と半田さん。

半田さんが属す地元農協の青年部は、地域の小学生とともにソバやサツマイモを育て、ソバ打ち体験や試食会などを行っています。「子どもたちに農業に対する関心を持つてもらいたい。そして若い人たちがこの地域にずっと住み続けてほしいです」と半田さん。若き就農者の視線は地域の未来へも注がれています。



3. 地域で取り組む親子の体験学習圃場「森町農業小学校」の様子。サツマイモの収穫を終えて、みんな笑顔です。
4. スイートコーンの畑。三毛作によって地域の田園風景は季節ごとのさまざまな表情を見せてくれます。
5. 半田さんの父親と祖父も現役の農家。親子三代の笑顔には農家としての誇りを感じます。



森町南部

もりまちなんぷ

周智郡森町圃田地区・飯田地区

- 電車／新東名高速森掛川ICから県道40号線を経て天竜浜名湖線・円田駅方面へ約10分
- 車／天竜浜名湖線・円田駅から太田川方面へ南下。徒歩約10分

スイートコーンの収穫体験で子どもたちと触れ合う半田さん。森町のスイートコーンの甘味は全国的に有名です





天竜の山奥に位置しながらも、熊地区には1年を通してたくさんの人が訪れます



築260年の古民家民宿「たべや」を営む水野さんと。土田さんは邑の人と大変仲良しです



1. 熊地区のお茶「丸芝」は、第69回全国茶品評会で全国一位に輝いた銘茶。パッケージデザインは浜松の大学生。土田さんの発案でブランド化され、新聞でも紹介されました。
2. 水車の里の20周年記念の横断幕も、土田さんがデザインしました。
3. 土田さんが生みの親である邑のゆるキャラ「くうちゃん」の着ぐるみは、中に入っている人の顔が見えるユニークなデザイン。



土田さんが制作した「くまマップ」。熊地区の地図が分かりやすく記されています。裏は邑の方言一覧表。ゆるキャラの「くうちゃん」がふんだんに使われた、可愛らしいデザインです

この地域に今後も住み続け、邑おこしに協力したいです

◆浜松山里いきいき応援隊天竜区担当 土田哲也さん

天竜美林に囲まれた天竜区熊地区は、経済が最盛期を迎えていた80年代から女性たちが中心となり、地域活性に取り組んできました。『くま水車の里』を中心とする邑おこし活動が評価され、89年には『豊かな村づくり部門』で農林水産大臣賞と天皇杯も受賞しています。

「この地区の人たちは、過疎問題に対して非常に意識が高い。本当に活発だし、皆で何とかしようという空気があります」と浜松山里いきいき応援隊の土田哲也さんは語ります。

土田さんは生まれこそ磐田市ですが、育ちは関東。卒業後はデザインの仕事をした後、青年海外協力隊としてフィリピンで町おこしに携わっていました。帰国後に自分の経験を社会還元できないかと考え、現職に応募したそうです。

「熊地区は県でも端に位置し、ここが目的じゃないと人は来ません。それにも関わらず、一般企業が起業して5年持たないといわれる時代に、水車の里はもう20年以上、邑人たちの力で採算を取り経営を成り立たせています。勉強させてもらうつもりで、この地区を志望しました」

邑人との交流に重きを置きつつ、デザイナーだった経験を活かし、邑の案内やイベントのチラシを一新。熊地区のゆるキャラのデザインやLINEスタンプの制作も手掛けました。

熊地区では近年、山で獲れたジビエ料理を味わえる民宿がオープンするなど、都市部との交流を図る動きは相変わらず盛んです。平成28年の3月で任期を満了する土田さんは言います。

「任期が終わってもこの近くに住んで、何らかの形で邑に貢献したいと考えています」

暖かい邑人たちの人柄に触れ、すっかりこの地区が好きになったと話す土田さん。彼のような若者が増えれば、邑の未来はもっと明るくなることでしょう。

邑番号 84

夢未来くんま

ゆめみらいくんま

浜松市天竜区熊（くんま水車の里）

- 電車・バス／遠州鉄道西鹿島駅下車→遠鉄バスくんま水車の里行き40分→終点下車、徒歩すぐ
- 車／東名高速浜松ICから60分、新東名高速浜松浜北ICから40分



道の駅「くんま水車の里」。地域の女性が営む食事処「かあさんの店」や物産館、そば打ちやコンニャクを手づくりできる体験工房があります。



邑番号
10

日本一の だいだいの里 「多賀」

にほんいちのだいだいのさと たが

熱海市下多賀・上多賀

●車／東名高速沼津IC、新東名高速長泉沼津IC→国道135号下多賀交差点を曲がり、坂道を上ると多賀中学校周辺に橙畑が広がる(約80分)

●電車／JR伊東線伊豆多賀駅下車徒歩・JR熱海駅下車東海バスJA下多賀支店下車(約25分)徒歩15分

親から子へ。 継承の願いが込められた「橙」

爽やかな香りと酸味が自慢の「橙(ダイダイ)」は、食卓に彩りを添える食材として注目されている多賀地域の柑橘ブランド。風味の良い果汁はポン酢やサイダー、和洋菓子といった様々なオリジナル商品の製造に活用されています。また、橙は木から落ちず、古い果実と翌年の新しい果実とが混在する特徴があります。そのため「代々栄える」という意味で古くから縁起物として重宝されてきました。伝統を受け継ぎながら、地域の人たちは今も大切にみかん園を守り続けています。



邑番号
16

葦山多田

にらやまただ

伊豆の国市葦山多田

●車／東名高速沼津IC国道1号三島方面経由→国道136号下田方面→「原木駅南」交差点左折→県道136号線葦山方面(約30分)

●電車・バス／JR三島駅→伊豆箱根鉄道→原木駅下車徒歩約20分

満腹が無病息災をもたらす、 葦山多田の『二杯盛り』

田園と富士山のコントラストが映える葦山多田地域には、「二杯盛」という伝統行事があります。年に2回、山の神さまに感謝をしながら、茶飯を2杯分食べるのが二杯盛りの習わし。五穀豊穡を祈るため、元亀2年にはじまったとされています。大盛りのご飯には「しっかり食べてしっかり働け」という意味があり、全員が完食するまで儀式は終わりません。そんな二杯盛りの行事には地元の小学生も参加し、伝統文化の継承と地元暮らしの人たちとの交流が生まれています。



邑番号
20

寿太郎みかんの ふるさと 西浦

じゅうろうみかんのふるさとにしうら

沼津市西浦平沢 他

●車／東名高速沼津IC、新東名高速長泉沼津IC→国道414号経由(約55分)

●電車・バス／JR沼津駅→東海バス江梨行→西浦農協バス停下車(約50分)

地元で愛される、 地域限定「寿太郎みかん」

沼津市西浦の「寿太郎みかん」は糖度と酸味のバランスがよく、濃厚な味わいが特徴のみかん。西浦地区の特産として有名です。実は寿太郎みかんの原木は1本の木に2種類のみかんの実がなっているという不思議な木。今でこそ沼津市のみかんの栽培面積の4割を占める寿太郎みかんですが、そこには地元農家が大切に果樹を守り続けてきた背景があります。12月は寿太郎みかん収穫の時期、地元由来の熟成の味を堪能できます。





清水から世界へ！ ブランドみかん「はるみ」

爽やかな甘さとジューシーな果肉がはじける「はるみ」は清水のブランドみかん。清美にポンカンを交配させたことにより生まれた、味も栄養価も高いみかんです。2011年には、全国や海外に誇る農産物として「しずおか食セレクション」にも認定されました。そんな高品質なはるみを栽培する原・新丹谷地区は、全国的にも珍しい大区画平坦なみかん園。園内を新東名高速道路が走ります。地域自慢の逸品として愛されるみかんと独特の農村景観に出会える場所です。



原・新丹谷

はら・あらたにや

静岡市清水区庵原町 他

●車／JR清水駅から約3km(約15分)、静岡鉄道新清水駅から約4km(約20分)、東名清水ICから約1km(約5分)

●電車・バス／静鉄バス庵原線 松花下車徒歩3分、静鉄バス港南厚生病院線 神明前下車徒歩5分



400年前の祭りを体験。 日向七草祭

奥葦科川上流部に位置する大川は古い歴史をもった地域です。大川の伝統行事で、静岡県県の無形民俗文化財にも指定されている日向七草祭は、寛永21年(1644年)の記録が残っている由緒あるお祭り。毎年旧暦の1月7日に福田寺観音堂で、日の出の祈禱と田遊びを行う夜祭りに分けて行われます。メインの夜祭は多くの観客の中、厳かに行われ、大川地区の一大イベントになっています。平成28年は2月14日(土)に行われます。



奥葦科・大川

おくわらしな・おおかわ

静岡市葵区日向

●車／東名高速静岡ICから約60分、新東名高速静岡SAスマートICから約30分

●電車・バス／静岡駅→静鉄バス葦科線日向行(約70分乗車)→(奥葦科・大川)日向下車



栄養も味も折り紙付き 一級品! 青島の秘密

浜名湖が眼下に広がる三ケ日みかんの里は、水はけのよい赤土と太陽光に恵まれた果樹園。栽培の歴史は250年と古く、多くの町民が代々みかん園を営んでいる地域です。中でも三ケ日みかん「青島」は、里の代表的なブランドみかんです。一般的なみかんよりも糖度が高く酸味も少ないため、飽きのこないコクのある味が特徴。また、食品加工用として果肉をペースト状にする技術を開発。果実のみかんに比べ、栄養素が一段階高くなる結果に注目が集まっています。



三ケ日 みかんの里

みっかひみかんのさと

浜松市北区三ケ日町三ケ日

●車／東名高速三ケ日ICから約5分

●電車／天竜浜名湖鉄道三ケ日駅または都筑駅下車

12/12(土) 11:00~15:30

西部

伝統行事「すこコン」を現代風にアレンジ
第4回いかまいか! すこコン祭
雄踏文化センター
浜松市西区雄踏町宇布見5427 ※駐車場あり
園地活性化プロジェクト らびりんすゆうとう
☎053-592-1034(吉田和子)

らびりんすゆうとう
邑番号 99

12月初旬

西部

そばの収穫
遊休地で育てたそばの収穫
浜松市中郡町
遠鉄西ヶ崎駅東側他 ※駐車場あり(橋爪新田公会堂)
園けっこい中部 ☎053-434-1877(代表 村木)

中部地区
邑番号 88

12/13(日) 9:30~12:30

中部

27種370本の「ふるさとみかん山」で収穫体験
みかん収穫体験
ふるさとみかん山 藤枝市岡部町内谷1400-1付近
園藤枝市役所農林課 ☎054-643-3266

岡部本郷
邑番号 56

12月~3月

西部

県景観賞にも選ばれた田園風景
冬レタスのビニールトンネル風景
森町円田付近
園森町役場産業課 ☎0538-85-6316

森町南郡
邑番号 79

12/20(日) 10:00~14:00

西部

田舎料理のプロ「ドラゴンママ」のお母さんたちと楽しく料理
ドラゴンママの「食」手づくり体験
~五平餅とこんにやく作り~

ドラゴンママ加工場
浜松市天竜区龍山町瀬尻930-11 ※駐車場あり
園ドラゴンママ ☎053-968-0011
※体験料:2,000円(定員:20名/最少催行人数5名)
※受付は12/10まで

はつと龍山
邑番号 97

12/5(土)~2/7(日)

伊豆

棚田をLEDでイルミネーション
石部の灯り
松崎町石部棚田
園松崎町企画観光課 ☎0558-42-3964

石部家根田村百笑の庵
邑番号 09



12/20(日) 9:00~

西部

春野町杉地区の森林散策
歩いて森林浴! 森林散策体験会

春野山の村 第一駐車場
浜松市天竜区春野町杉943-1 ※駐車場あり
園NPO法人 はるの山の楽校 事務局 ☎053-984-0311
※参加費:100円(保険料を含む)

はるの山の楽校
邑番号 96

12/23(祝) 9:00~15:00

西部

ミニ門松としめ飾りを製作
正月ミニ門松・しめ飾り教室
あらさわふる里公園
御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場あり
園(南)グランパークあらさわ(代表 杉浦敏明) ☎0537-85-8230
※材料費:1セット300円(150セット限定)

朝比奈
邑番号 76

1月中旬~2月中旬

端梅の花が見頃
ろうばい見頃

アクティ森
森町問詰1115-1 ※駐車場あり
園アクティ森 ☎0538-85-0115

天方
邑番号 80



1/1(祝)

西部

県でも有数の初詣の地
小國神社の初詣

小國神社 森町一宮3956-1 ※駐車場あり
園小國神社 ☎0538-89-7302

一の宮の郷
邑番号 81

1/3(日)

西部

一年の豊作を祈願する神事芸能
田遊び祭

小國神社 森町一宮3956-1 ※駐車場あり
園小國神社 ☎0538-89-7302

一の宮の郷
邑番号 81

あなたが見つけた農村の魅力
みんなの宝物にしましょう

第1回静岡県

農村の魅力
フォトコンテスト

作品
募集中

応募締切 平成28年 1月15(金)

年齢、プロアマは問いません。(但し、日本在住者に限る)

【募集テーマ】

- 一般部門……「次世代に伝えたい農村の価値」
- SNS部門……「農村で感じた幸せな時間」

【賞】

- ◆特選(静岡県知事賞)1点
- ◆準特選(静岡県土地改良事業団体連合会会長賞)2点
- ◆色づくり特別賞 他

「美しく品格のある邑」に登録されている地域
で撮影された作品は、「ふじのくに美しく品格
のある邑づくり連合会長賞」および「邑づくり
特別賞」の対象となります。「美しく品格のある
邑」の位置や名称を、HP上で確認のうえ、
応募票に、撮影した地域の「美しく品格のある
邑」の名称を記入ください。

主催:静岡県
協賛:静岡県土地改良事業団体連合会、
ふじのくに美しく品格のある邑づくり連合

◇詳しくは…

静岡県農村の魅力フォトコンテスト 検索

Event Calendar

邑のイベントカレンダー

*
2015-2016
Winter
*

12月 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23 天皇誕生日	24	25	26
27	28	29	30	31		

1月 January

					1 元日	2
3	4	5	6	7	8	9
10 成人の日	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月 February

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11 建国記念の日	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29					

あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail:
nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢
をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降に掲載させていた
だく場合があります。
※個人情報、連絡のため以外には使用いた
しません。

2/21日

西部

しし鍋、五平餅、特産品が勢揃い
第21回「大寒謝祭」

▲水車の里ふれあい広場

浜松市天竜区熊1976-1 ※駐車場あり

園特定非営利活動法人 夢未来くんま

☎053-929-0636 (代表 大石)

夢未来くんま
邑番号 84

2/7日

西部

餅つき体験と草餅づくりと草餅の即売
山の講 餅つき体験

▲いっぶく処横川

浜松市天竜区横川3085 ※駐車場あり

園横川生産物直売所利用組合 ☎053-924-0129 (小沢)

いっぶく処横川
邑番号 94

1/3日

13:00~18:00頃

西部

400年の歴史。国指定重要無形民俗文化財「寺野ひよどり」

伝承される寺野の民俗芸能
(ひよどり)を観る

▲宝蔵寺観音堂

※集合:てんでんゴーしぶ川

浜松市北区引佐町渋川237-1 ※駐車場あり

園特定非営利活動法人 大好き渋川 ☎053-545-0452

大好き渋川
邑番号 86



2/21日 9:00~

西部

天竜区横川地区の森林散策

歩いて森林浴! 森林散策体験会

▲いっぶく処横川

園横川生産物直売所利用組合 ※駐車場あり

☎053-924-0129 (小沢)

※参加費:100円 (保険料を含む)

いっぶく処横川
邑番号 94

2/7日

東部

上野地区にある3施設を巡り新酒や地元グルメを楽しむ

第7回上野の里まつり

酒蔵めぐり2016

▲富士宮市下条地域

富士正酒造(上野蔵)、牧野酒造、土井ファーム

園富士宮市観光協会 ☎0544-27-5240

※詳細はWEBにて随時公開

http://uenohills.com

南条の里
邑番号 34

2/21日~3/13日

伊豆

1500本の梅が咲き誇る

伊豆月ヶ瀬梅林 梅まつり

▲伊豆月ヶ瀬梅林

伊豆市月ヶ瀬535-5付近 ※駐車場あり

園(農)伊豆月ヶ瀬梅組合 ☎0558-85-0480

※梅製品等の販売あり

※静岡県太鼓まつり開催(2/21・28、3/6)

伊豆月ヶ瀬梅の里
邑番号 18

2/14日 (旧暦1/7)

中部

日の出の祈禱と夜祭りから構成される

県指定無形民俗文化財

日向の七草まつり

▲福田寺観音堂

静岡市葵区日向

園大川地域振興協議

会(今永)

☎080-3628-4523



奥豊科・大川
邑番号 41

2/27日・28日

西部

3/5日・6日

約800m400本の河津桜が満開

桜まつり

▲浜松市西区大山町桜川堤防沿い

※駐車場あり ※農産物販売あり

園和地ふるさと会 ☎053-486-0089 (山下昌利)

和地ふるさと会
邑番号 83

3/13日

西部

渋川ツツジの種まき

めざせ! 渋川ツツジ博士

~渋川ツツジの種まき~

▲てんでんゴーしぶ川

浜松市北区引佐町渋川237-1 ※駐車場あり

園特定非営利活動法人 大好き渋川

☎053-545-0452

大好き渋川
邑番号 86

2/14日

西部

渋川ツツジの植樹体験

めざせ! 渋川ツツジ博士

~渋川ツツジの植樹~

▲てんでんゴーしぶ川

浜松市北区引佐町渋川237-1 ※駐車場あり

園特定非営利活動法人 大好き渋川

☎053-545-0452

大好き渋川
邑番号 86

2/14日 10:00~14:00

はつと龍山

田舎料理のプロ「ドラゴンママ」の

お母さんたちと楽しく料理

ドラゴンママの「食」手づくり体験

~びっくり饅頭とクッキー作り~

▲ドラゴンママ加工場

浜松市天竜区龍山町瀬尻930-11 ※駐車場あり

園ドラゴンママ ☎053-968-0011

※体験料:2,000円(定員:20名/最少催行人数5名)

※受付は2/4まで

はつと龍山
邑番号 97

3/13日

西部

しいたけの網焼きやしいたけコロケを満喫

春のしいたけ祭り

▲いっぶく処横川

浜松市天竜区横川3085 ※駐車場あり

園横川生産物直売所利用組合 ☎053-924-0129 (小沢)

いっぶく処横川
邑番号 94

毎月第3日 9:00~9:30

西部

地元の農産物販売

恩地町みどり朝市

▲恩地町公会堂広場

浜松市南区恩地町443 ※駐車場あり

園地域いきいき共生! 恩地町環境みどり会

☎053-426-2888 (代表 見野)

地域いきいき共生!
恩地町環境みどり会
邑番号 82

2/14日~3/15日

西部

梅180本桜200本が咲き誇る

梅・さくらまつり

▲あらさわふる里公園

御前崎市下朝比奈158-7 ※駐車場あり

園(有)グランパークあらさわ(代表 杉浦敏朗)

☎0537-85-8230

※期間中の日曜には、先着100名甘酒サービス

朝比奈
邑番号 76

1月17日 10:00~14:00

西部

田舎料理のプロ「ドラゴンママ」のお母さんたちと楽しく料理

ドラゴンママの「食」手づくり体験

~亥の子ぼた餅と味噌作り~

▲ドラゴンママ加工場

浜松市天竜区龍山町瀬尻930-11

※駐車場あり

園ドラゴンママ ☎053-968-0011

※体験料:3,500円(定員:20名/最少催行人数5名)

※受付は1/7まで

はつと龍山
邑番号 97

1/28日

中部

地域の祭り

不動明王祭

▲川根本町千頭 池の谷集落

園池の谷・閑蔵 ☎0547-59-2729

池の谷・閑蔵
邑番号 62

通年

西部

標高359.1m、棚田と遠州灘のコントラスト

竜ヶ石山ハイキングコース

▲竜ヶ岩洞付近

浜松市北区引佐町畑畑193付近 ※駐車場あり

※オープンデッキ・トイレあり

園里山元気もりもり隊 西四村ふるさとの会

☎053-543-0605 (代表 戸田)

竜ヶ石山~西四村の里
邑番号 93



2/3日 14:00~

西部

年男女の奉仕者による豆まき行事

節分祭

▲小國神社 森町一宮3956-1 ※駐車場あり

園小國神社 ☎0538-89-7302

一の宮の里
邑番号 81



2015年12月1日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合 〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課 ☎ 054-221-2714 FAX054-221-2809



ギャラリー
＊

03



生産者の情熱が描く 幻想的な農業景観に 思わず息を飲む。

【森町南部】 邑番号 79

の 豊かな田園風景が広がる周
智郡森町の南部は、寒さが
本格化する12月になると一面が
銀色の波で覆われます。幻想的な
光景を描くその正体はレタス畑の
防霜用ビニールトンネル。実際は
半透明のフィルムですが、遠くか
ら眺めると銀色に輝き、夕暮れの
美しさは思わず息を飲むほど神
秘的です。

夏になるとレタス畑は青々とし
た田畑に生まれ変わります。この
地域では水稲、スイートコーン、
レタスの三毛作を実現する「水田
3倍活用農法」が行われているか
らです。四季折々、多彩な表情を
見せるその農業景観は平成25年
に静岡県景観賞の優秀賞に輝き
ました。

『レタスビニールトンネル』
毎年12月頃から3月頃にかけて現れる
レタス畑の防霜用ビニールトンネル。手
間暇かけて育てた周智郡森町南部のレ
タスは冬季レタスとして全国トップク
ラスと言われています。同じ畑で夏季
に収穫されるスイートコーンも品質が
高く、同地の直売所に他県から訪れる
人も少なくありません。

●森町田／天竜浜名湖鉄道 田田駅下車



平成28年2月末日までに御
意見をいただいた方の中から
抽選で1名の方に邑の特産
品(2000円相当)をプレ
ゼントいたします。なお、当選
者の発表は商品の発送を
もって代えさせていただきます。
応募先など詳しくはP17
をご参照ください。



ふじのくに
美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"

「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合

邑の詳しい情報



オフィシャルウェブサイト
<http://www.fujinokuni-mura.net>

美しく品格のある邑 検索



facebook

ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム『邑ドキッ!』